

	議長	副議長	局長	次長	副課長	係長
	委員長	副委員長	書記			
会 議 記 録						
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会 協議会(意見交換会)			会議場所 全員協議会室		
				担当職員 佐藤		
日 時	令和3年7月13日(火曜日)		開 議	午後 2 時 00 分		
			閉 議	午後 3 時 51 分		
出席委員	◎赤坂、○奥野、田中、小川、藤本、木曾、菱田、(福井議長)					
出席理事者	【産業観光部】由良部長 [農林振興課]松本課長、和田林務・鳥獣対策係主査 【亀岡市森林組合】 山脇代表理事組合長、畑課長					
出席事務局	山内事務局長、佐藤主任					
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名			

会 議 の 概 要

1 4 : 0 0

1 開議 (赤坂委員長あいさつ)

[事務局主任より日程説明]

2 案件

[亀岡市森林組合・産業観光部入室]

(1) 今後の森林整備について (亀岡市森林組合・産業観光部との意見交換会)

1) 開会 (赤坂委員長あいさつ)

<赤坂委員長>

先日、日吉町森林組合と一緒に視察に行かせていただいた。その視察を踏まえて、亀岡市の今後の森林整備について、ざっくばらんに意見交換ができればと考えているのでよろしくお願いする。

2) 開会あいさつ

(亀岡市森林組合 山脇代表理事組合長あいさつ)

<亀岡市森林組合代表理事組合長>

本日は亀岡市森林組合を皆さんに知っていただく機会を設けていただき感謝する。資料と映像により、亀岡市森林組合がどのような活動をしているのか知っていただきたいと思う。

(亀岡市産業観光部長あいさつ)

<産業観光部長>

先日は、このメンバーで日吉町森林組合を視察させていただいた。その中で、気づくこと、学ぶべきことがたくさんあったと思う。本日は委員会で意見交換の場を設けていただいたので、いろいろとご意見をいただく中で、亀岡市のよりよい農林行政を行っていただけるようによろしく願います。

14:03

3 今後の森林整備について

[亀岡市森林組合代表理事組合長 資料・映像に基づき説明]

14:24

[農林振興課長・主査 資料に基づき説明]

14:37

[意見交換]

<赤坂委員長>

亀岡市森林組合だから信用があるという、そのような時代は終わってくる。今のところ山脇代表理事組合長の攻めの姿勢も意欲も分かった。それに対して行政のなあな部分があったと思う。もう少し詰めておけば、うまくいっていたのではないかという場面もあった。災害が起きて緊急で入らなければならなくなったりする。日吉町森林組合で学んだこととして、亀岡市森林組合には機械がない。いつ熱海市のような土砂災害が起こるか分からない。亀岡市と亀岡市森林組合がかみ合っていない部分があると思う。亀岡市森林組合が大本となって、何か起これば、下請けに任せられるような組織をつくっていく必要があると考える。組織をつくるまでの事業計画を前向きにつくっていかなければならない。もう少し集約した計画を考えていただきたい。どのように、亀岡市森林組合を助けていくかが重要になってくる。亀岡市森林組合からも本音で意見をいただきたい。

<木曾委員>

今までも森林整備についていろいろ議論はあったが、間伐についても、それぞれの組合や財産区から依頼された分を市の補助金などを使いながらやっていたが、スピードは緩やかに進んでいる。ところが、間伐しなければならいところも増えてきて、早くしなければならなくなったときに、台風20号が来て、倒木は増えた。災害による被害が増えてから、森林整備の遅れに気づかされた。日吉町森林組合で学んだことを頭に入れながら、今後どのような計画を立てて、どのようなことをやっていけば、森林を守っていくことができるのかを考えていかなければならない。亀岡市の森林整備は遅れているのが現状である。市として、亀岡市森林組合に対して、機械購入の補助等を考えていくべきであると思うがどうか。

<農林振興課長>

亀岡市としては、先日日吉町森林組合に行かせていただいて、森林プランナーといわれる、整備を計画して、集約をかける部門と、実際に工事を施業していく部門の2つがしっかりと役割分担ができて、一つの規模が日吉町森林組合は大きいということが分かった。そうした中で、亀岡市森林組合はこれまで、切り捨て間伐ということで、チェーンソーで、倒していつている。木曾委員から先ほどあったが、災害が起これば、木が流れ出すので、搬出間伐が基本となっている。そうなれば、機械がなければ搬出できない。先ほどの亀岡市森林組合の映像でもあったが、保津町でも管理道をつけて進んでいつている。一定、亀岡市森林組合の今の体制では、難しいと感じるので、今後、5年間の森林整備計画を立てているし、今後10年間でどのようなものができるか、亀岡市森林組合と一緒に組み立てている。山林所有者をとりまとめてやっていくのは、亀岡市森林組合を中心にして、実際の施業には、日吉町森林組合や林業業者に、亀岡市森林組合が下請けに入ってもらってどんどん進めて行くのも一つである。亀岡市の森林整備計画を立てて、亀岡市が集約すれば、指名競争入札やプロポーザル等競争意識を働かすので、亀岡市森林組合に無条件にやってもらうことにはならない。すみ分けをしっかりとしながら、市が所有者の集約をかけて、亀岡市森林組合は補助金等を活用して、集約をかけて、それら2本立てで、スピード感をアップさせていく。亀岡市は指名競争入札などで、京都府が認める森林業者に出す。亀岡市森林組合は集約をかけて、下請けに出して、5年間なり、10年間の森林整備をスピードアップしながらやっていきたいと考えている。今年度にしっかりと連携しながら、計画を立てていく。機械の購入については、一気に機械を購入して、亀岡市森林組合が使えるかと言ったらなかなか難しい。リースでやってもらっても、国や京都府の補助金が出る。リース業者もいつ使ってもらえるかどうか分からない機械は貸しにくい。亀岡市森林組合がこの5年間、これだけ必ず搬出するとなれば、リース業者も儲かるような計画をしっかりと立てられた場合はリースで借りたほうが、機械をフル回転することができる。しっかりと森林整備計画を立てて、リース会社から借り受けて、補助金も受けられるので、そのような取組の中で事業を推進していきたいと考える。

<赤坂委員長>

農林振興課長からの意見に対して、山脇代表理事組合長意見はあるか。

<亀岡市森林組合代表理事組合長>

機械の購入については、購入すればランニングコストがかかるが、いつでも使用することができるので、機械に習熟しやすくなり技能者を育てやすくなるメリットがある。リースは、もう少しすれば、リースで計画が立てやすくなるが、今森林整備計画が樹立しつつあるので、見通しが明るくなればリースも可能であると思う。機械が手元にあれば、使い勝手がよいが、機械が寝ている時間が多くなればもったいない。その時間を貸すということも可能かもしれない。

<木曾委員>

先ほどから、亀岡市森林組合以外に林業事業者という言葉がよく出てくるが、林業事業者とはどこか。

<農林振興課林務・鳥獣対策係主査>

新しい経営管理制度が始まったときに、京都府が亀岡市で事業をしてくれる林業体を募った。日吉町森林組合等7社あり、亀岡市が集積をかけたところは依頼ができる。日吉町森林組合のほかは、日吉町にある株式会社あしだなどである。

<農林振興課長>

ほかは、京丹波町森林組合や亀岡市森林組合、京北の林業者などである。

<木曾委員>

それだけの事業者になっても、規模や事業内容によっては、入札に参加してもできる事業者とできない事業者があると考えます。林道の整備ができているところはやりやすいと思う。所有者がお金を出してまで、整備してくれというところはないと思われる。その辺りをどのように展開していくのか。計画を立てても計画どおりにいくのか心配であるがどうか。

<農林振興課長>

今年度は、京都森林経営管理サポートセンターがある。亀岡市の山には約260林班があり、ブロックごとに分かれているので、搬出したときに、儲かるかどうか調査して、図面に落として、森林整備をどのように実施していくのか考えていく。また、亀岡市の山については、現場を見て実施していく中で、オブザーバーに亀岡市森林組合に入ってもらって、具体的にどこの山から入っていくのか決めていきたいと考えている。亀岡市森林組合には、ここであれば、組合員に少しでもお金を返せるようなところを最優先にやって、所有者の方に整備してもらってよかったと思っていただけるような形で進めていきたいと考える。その後に、入りにくいところに入って行かなければならない。災害が起こったときに、どうするのかとなるので、森林環境譲与税の入り具合を見ながら進めて行く。最優先で進められるところはスピード感をもって進めて行く。それ以上に費用がかかるところは、収入をしっかり見ながら進めて行く。

<木曾委員>

亀岡市が積極的にしなければならないことは、林道をまともな林道にすることである。車も入れないような林道が何箇所もあるので、一日も早く林道整備をする必要がある。林道整備をすることによって、計画を前倒しして進めることができるかと考える。技術的なことや人材育成については、亀岡市森林組合や林業事業者などに任せていくというように、すみ分けをしていくことが大事であると考えますか。

<赤坂委員長>

亀岡市森林組合の畑課長は何か意見はあるか。

<亀岡市森林組合課長>

現在の亀岡市森林組合の下請け事業者は10社ほどある。木を切るだけの事業者はいないので、木を切って、市場等に搬出してもらって全てができる事業者を抱えている。森林経営計画を早く進めていくために、複数の現場をもっても亀岡市森林組合としては、対応は十分可能である。亀岡市森林組合の事業実績として、道をつけて、木を搬出することは、平成20数年から始めている。経営計画でいうと、馬路町や千歳町、東別院町など、総面積で150ヘクタールぐらい進めている。先ほどから日吉町森林組合が取り上げられているが、亀岡市でも十分できる。亀岡市森林組合は人材や機械は少ないが、レンタルも大分設備が整っているので、作業は十分可能である。

<赤坂委員長>

今の意見に対して、農林振興課長何か意見はあるか。

<農林振興課長>

先ほどの下請けの林業事業者について、把握していなかったもので、力のある下請けを持って、しっかりやっていただけると言っていたので、心強い。森林プランナーが、集約をかけていって、収支が合うように山林所有者に提案していけるようであれば、亀岡市森林組合と連携しながらやっていかせていただきたいと思います。

<赤坂委員長>

やはり、この問題は一つにならなければならないと思う。亀岡市森林組合の組合員は1,601人おられて、亀岡市森林組合が出て行かなければ話にならないこともある。亀岡市が下請けの10社を知らなかったというのも問題である。そのために、掘り下げて話をしていきたいと思う。もっと早く力を入れるべきであり、連携できるような形を取っていきたい。

<菱田委員>

先日、日吉町森林組合に視察に行かせていただいて、森林施業プランという様式をいただいた。これには、5.72ヘクタールで、1,700立方メートルを搬出し、差し引きして、968,000円を所有者に渡すということだが、作業道の開設費や削岩費用等の工事費が入っていないということは、路網整備ができていない場所ということになる。経営管理計画や意向調査をする中で、路網をどのように整備するかが大事になってくると考える。林道があまりにも短すぎると感じるのも、これでは、山の管理は十分できないと考えるがどうか。

<亀岡市森林組合課長>

確かに、亀岡市の林道及び作業道は少ないと感じる。木を搬出するときには、その道に応じた車で作業することは可能である。所有者へのお金の還元を考えれば、大きい車が入って、一度に運び出せることがコスト削減につながるのも、道の整備は重要であると考えている。

<赤坂委員長>

還元は考えずに、ゼロになるように最低ラインを持って行く。日吉町森林組合の施業プランはちょっとでも赤字が出ないように、プランナーを入れていた。道を作るのは高いが、もって行き方によっては、プランナーさえしっかりしていれば、後で補填しなければならないことはないのではないのか。

<亀岡市森林組合代表理事組合長>

森林経営計画では、亀岡市森林組合は、所有者負担ゼロを目指している。エリアを決めて、まとまりを作ることによって、赤字のところと黒字のところをゼロで施業できるようにしていきたいと考える。個人負担がゼロになれば、よいほうである。

<菱田委員>

山に入って行って、搬出間伐など整備していく中で、道がないところをどのように加えていくのか。また、今ある作業道を林道に昇格させて、その中で、路網をしっかり整備していくのはどうか。

<農林振興課長>

亀岡市は山に登る道が非常に少なく、細い道しかない。林道を整備するには、経費がかかる。日吉町は低い山が多く作業がしやすいと感じるが、亀岡市は険しい山が多い。技術的にカバーしてもらいながら、多少、日吉町や京丹波町より経費がかかったとしても、搬出間伐が基本になるので、管理道などで、何とかカバーしていただくか、急斜面などもあるので、林業事業者としっかり打ち合わせをさせていただいて、林道を含めて支援ができることは何かを検討していきたいと考える。

<菱田委員>

山を守ろうと思ったら、お金をかけなければならないし、所有者にもお金を返していかなければならない。いろいろな樹種をお金にしていくことが重要である。チップにして、堆肥に入れていき、それを田んぼに返していく。森と田んぼの循環型社会にすることが必要である。お金になるように仕掛けていかなければならないと思うがどうか。

<農林振興課長>

人工林は将来的に切り出しするために植林されたものである。本来であれば、広葉樹や針葉樹をお金に変えていく必要があると思う。3年前の台風では、人工林が折れてひどいことになった。今後は、長い目で見ながら、今回ウッドスタート事業をさせていただいたが、山があって里があり、全て山から恵をいただいて、山には多様性がある。それを理解して、山の整備に広く啓発を含めて、予算をかけていけるように、ウッドスタート事業と森林整備事業の両輪で、十分理解していただけるような取組を進めていきたいと考える。

<藤本委員>

本日の説明を聞いて、亀岡市森林組合では、森林経営計画をしっかりと立てて取り組んでいただいているのがよく分かった。プランナーの方も1名おられると聞いて安心した。かつては、材木を筏に組んで流して、大きな富を得ていたが、バブルがはじけて、材木の価格が下がってしまった。そのような中で、安全・安心のまちをどのようにつくっていくのかは、10年計画などをもって森林整備を実施していくのか。そのためには、5年計画、3年計画、毎年の1年計画を立て、プランナーは1名でよいのか。林業機械の整備など、亀岡を守れるだけの森林整備計画ができているのか心配する。年間3,000万円ほどの小規模の間伐では、亀岡の山林を整備していけるのか、その辺りをしっかり考えて計画を立てていただきたい。

<産業観光部長>

いろいろと議論させていただいている中で、これからの亀岡の森林整備の在り方が見直されている。特に異常気象の中での防災については、重きを置いている。そのうちの一因が、山林の円滑で適正な管理になる。今後環境譲与税をいただく中で、亀岡市森林組合など関係者と、今まで以上に危機感を持って業務を進めて行かなければならないと考える。差し当たり、亀岡市森林組合で、ある程度の計画を立てていただいているので、亀岡市としても参考にさせていただきながら、計画を立てていきたいと思う。

<藤本委員>

亀岡市から亀岡市森林組合への補助にしても、年間150万円ぐらいでは、実際人材も育てられないし、機械も購入できない。まず、計画だけでもしっかりしたものを立てていただいて、誰が聞いても安心できるような計画をお示しいただきたい。

<小川委員>

先日、日吉町森林組合に視察に行かせていただいた際に、「今後10年以内に整備しなければならない」という話を聞いてショックを受けた。今後若い方が2人入って来られると聞いて、非常に心強いと思う。将来の亀岡市の森林を担っていただけるように、行政も支援しながらやっていっていただきたいし、10年は森林整備の目標でもあり、SDGsのゴールでもある。今後の山の集約を含めて、境界確定はどのように進んでいくのか。

<農林振興課林務・鳥獣対策係主査>

国土交通省が定めているが、境界確定になってくると、しっかりとした測量や位置決めによる図面の作成が必要である。それは、一つの区画を作るだけで何百万円の費用がかかってくるので、山の場合はそこまでの費用をかける必要はないのかという話になった。境界の明確化という形で、森林簿や京都府から輪番図を渡されているので、それらを基にして、その堺を所有者同士の立会いの下、同意を得て、エリアを決めていく形で今後も進めて行く。

<小川委員>

そのようなことをしながら、山を全て知ってもらうことが大事である。市民も台風

があって、倒木があれば、まだ残っていると心配される。防災面と今後の山を守るということで、今日はよい機会だと思う。今度ウッドスタート事業が始まるが、亀岡市森林組合や今後亀岡市森林組合に就職される方との連携は図られているのか。

<農林振興課長>

ウッドスタート事業であるが、7月10日に宣言させていただき、木育円卓会議を開催させていただいた。その中には、山脇亀岡市森林組合代表理事組合長も参画いただいている。また、木育を進める中で、子育てをされている、保育所や幼稚園のグループやNPO法人など、大変期待をしていただくような声がたくさんあった。これまで、それらと亀岡市森林組合とのつながりが、全くなかったとおっしゃっていたし、今後、亀岡市森林組合が積極的に木育や木や山の多様性を理解していただけるようなネットワークづくりができたので、そのような機会を積極的につくっていきたいと思う。亀岡市森林組合に若い方が就職されるという中で、十分にコミュニケーションを図れる場をつくっていきたいと考えている。

<小川委員>

もっと連携して、取り入れていっていただきたい。森林管理経営は非常に大事であるので、儲かる林業ということで連携しながらやってもらいたい。

<亀岡市森林組合代表理事組合長>

新規職員について、一人は内定しているが、もう一人はインターシップで来られるので、来年3月で卒業になっており、内定はしていない。次の時代を担う亀岡市森林組合をつくれるように、新規職員を採用していこうと考えている。

機械の購入について、林業大学校は最新の機械を使った授業をしているが、亀岡市森林組合に来れば、最新の機械はないので、古い事業体に思われないようにするにはどうすればよいか悩んでいる。

<木曾委員>

農業も林業も総論の部分では、何とか将来に向けて、継承者も含めて考えて行かなければならない。農業も林業もなぜ衰退しているかは、儲からないからである。でも、山が宝の山になれば、違うことが起こってくると思う。きれいごとだけではこの事業はできない。お金になるということになれば、所有者も積極的に参加し、そのことで、森林整備ができればウインウインの関係になると思う。きれいごとばかりでは、計画を立てても実際は進まないと考える。みんなに参加してもらえる、儲かるという姿勢を持つような計画に持っていかなければならない。人も育てるように、行政と林業事業者が一致団結してやっていけるような方法を取って、その中で育てていけて、機械を導入できれば、山脇代表理事組合長が心配されていることもクリアできるし、新規職員も使い勝手がよくなる。今亀岡では儲からないのが現状であるので、そのようなことでは亀岡の森林は守れないと思う。それをしようと思えば、日吉町森林組合のように、所有者にお返しできれば、流れは変わってくるし、景色も変わってくると思う。森林のあるイメージが変わってくる。それを変えていかない限り、きれいごとばかりでは、行政が全てお金をかけてすることはできない。もっと真剣に考えていかなければならない。そのためにスタートする気持ちにならなければならない。補助金ばかり使ってやるのがよいとは限らない。もっとそういうことを考えられる計画を立ててほしい。

<亀岡市森林組合代表理事組合長>

先ほど、お示した計画が現実にはしっかりと行われるように頑張っていきたいと思う。

<農林振興課長>

今、ウッドショックということで、高く木材が売れるチャンスであるので、早急に計画を立てて木材が売れるように、亀岡市森林組合と調整しながら進めたいと考える。また、機械を購入できるようにできるだけサポートをしていきたいと思う。亀岡市森林組合がこの機械を購入して、ぜひともやっていくということであれば、国や京都府と調整しながら、サポートしていきたいと考えるし、亀岡市森林組合と十分に連携して進めて行きたいと思う。

<赤坂委員長>

亀岡市森林組合自身も施業プランを考えていかなければならないし、そこで新しい人が入ってくると、利益を産まないといけない。その分前向きに計画を立てる必要があると思う。亀岡市としては、命を守るという視点から、できるだけ早く考えていかなければならない。また、次回意見交換会を開催したいと思っているので、その中で、亀岡市森林組合と協議していただいて、来年からどのようにしていくのか、最後には合致していくような意見交換会にしていきたいと思う。

<産業観光部長>

本日はこのような機会を与えていただいて感謝する。これからの進め方等を勉強していく機会になると考える。亀岡市森林組合の思いや意見を聞かせていただいている。議会の皆さんも森林整備について、今年からクローズアップされた事業であるが、利益が出なければ衰退していくのは当然である。また、山の自然が防災になっているので、大切であると再認識した。今後もこのような機会を設けていただく中で、市の財政もなかなか厳しいが、必要なことであれば予算を付けていくと聞いているので、委員の皆さんに審査していただく中で、私どもも、精査して予算を上げていきたいと考える。また、今後もよろしく願います。

<赤坂委員長>

最後に奥野副委員長より閉会のあいさつをいただく。

4) 閉会（奥野副委員長あいさつ）

<奥野副委員長>

森林経営については、我々委員は素人であるが、そこに大事な市民の税金をつぎ込んでいくことについては、慎重に審議していきたいと考える。先日の日吉町森林組合の視察を見る限り、亀岡市はこれからだと感じる。国や京都府の補助制度を十分利用しながら、実行部隊は、亀岡市森林組合にお願いしながら、プランナー育成等については、亀岡市にサポートいただき、儲かる林業にしていきたいと思う。今後も、このような機会を持たせていただきながら、亀岡市森林組合とコンタクトを取っていきたいと考える。亀岡市森林組合から、下請け林業事業者はたくさん機械を持っておられると聞いたので安心した。亀岡市の補助で機械を購入するとなると、莫大な費用がかかるので、その辺をうまく利用しながら、今後の林業整備に向けて、頑張っていっていただきたいし、我々も協力させていただきたいと思う。

15 : 46

[亀岡市森林組合・産業観光部退室]

3 その他

(1) 行政視察について

＜赤坂委員長＞

今後どのように進めて行くかについては、森林整備について岡山県真庭市に行かせていただきたいと思う。また、藤本委員から提案があった、伝統的建造物群保存地区の丹波篠山市も日帰りで行ければと考えている。

今後、月末の委員会でプランを出していくので願います。

(了)

(2) 次回の日程について

＜赤坂委員長＞

今回は、7月27日(火)、午前10時から、委員会を開催するのでよろしく願います。午後は、事務所訪問を行う予定である。

亀岡市観光協会と森の京都DMOとの意見交換会は、8月6日(金)、10時から開催するのでよろしく願います。

散会 ～15:51